

青年用文章完成法の研究

高 橋 雅 春

A Study of Sentence-Completion Test for Youth

MASAHARU TAKAHASHI

序 説

目的 人格診断法として用いられる心理検査のうち、従来の質問紙法を補い、またそれに代るものとしてプロジェクト法が注目されているのは周知の処である。こゝに取上げる文章完成法 (Sentence Completion Test, 略して S C T) もこの投出法の一つである。所謂連想検査は一語を刺戟語として与え、その反応を分析するが、S C Tは未完成の文を示し、それを完結させて、解釈するものである。この検査は連想検査より刺戟が構造化されているものの、具体的に多くの分析材料を与えてくれる。更に集団検査として用いるので、時間を節約しうるし、また刺戟となる文を必要に応じて適当に実験者が構成しうる利点がある。

S C Tは被験者の生活空間や行動世界、更に葛藤や欲求をはじめとし、性格特性を含んだ人格構造を知ろうとする検査である。更に個人に止まらず或る集団に共通の考え方や理想等も知りうるので、社会集団への調査も可能である。勿論、他の心理検査同様 S C Tのみで万能ではなく、テスト・バッテリーの一つとしてその有効性をますことは言う迄もない。

検査法 S C Tを用いうる被験者は性別をとわなないが、文字を読みうることが第一条件である。尤も私は刺戟文を読んでそれに答えさせもしたが、文字を読めない人はどうも表現能力に劣っており、診断に役立つものが十分に得られなかった。Rohde は精神年齢が12歳以上の場合に有効な結果がえられたと述べるが、I Q80位より上の知能を持ち、年齢は12~3歳以上の被験者であることが望ましい。ここに作成した青年用文章完成法は12歳頃から20歳位迄を被験者として用いるように問題を構成してある。その為現行の S C Tの文献を参照にしたが、性的なものは特に項目として示さず、また「大ていの女は」を「大ていの少女は」というようにおきかえた。この形でも性に問題を持つ場合は反応全体から診断されえた。

検査を行うに当って特別な指示は不要であり、問題紙の上に書いてある指示をすればよい。ただ「なるべく早く」を強調し、できた者から答案を集め、時間を右端の T欄 (time) に記録する。非行者などに用いる時、S C Tは作為的に反応されることがあるので、之を除く為にもこの注意が望ましい。

解釈法 S C Tの解釈法には一定のものがない。従って研究者によって意見が異なる。例え

ば Rohde は TAT に於ける Murray のように欲求と外的圧力とを詳細にわけ、頻度と強さの上で点数にあらわすことによって分析しようとする。Sacks は予め「父への態度」「友人への態度」「恐怖」等十五項目を分類し、その各々について評点している。Rotter 等は(一)葛藤を示したり健康でない反応に+3乃至+1点を与え、(二)適応性のある健康な反応に-3乃至-1点を、(三)普通反応に0点を与えた。最後に $\frac{40 \times \text{評点}}{40 - \text{無反応}}$ を総点として適応性をみている。また Shor は拒絶・抵抗・逃避等六項目について検討している。敢て私見を述べれば Rohde の考えたような詳細な分析が、SCTの診断法として妥当であるか、またそれほど明確な結果を生むテストかという点に問題を感じる。

テ ス ト の 検 討

問題項目の作成 SCTの問題呈示の様式は、(一)「私は……が好きである」と、(二)「私の好きなのは……」の形式に分けられる。前者を閉鎖式、後者を開放式と仮称するが、いずれにも一長一短がある。そこで先ずどちらが書き易いかを被験者に尋ねた処、開放式をとるものが圧倒的に多かった。更に投出法の性質として刺戟が成可く未構造の状態におかれることが望ましいと考えられる。例えば開放式では否定の反応もありうるし、被験者が自由に反応しうる利点がある。従って一応開放式で問題を作成することにした。

次に問題項目を選択するに当っては、Tendler, Shor, Sacks, Rohde, Wilson その他の問題を参照にし、二回の改訂をして作製したものが別表のものである。項目を四十にしたのは、大体三十分前後でなしうることを考えたのである。総じて問題は反応内容が、(一)比較的限定され多くの被験者の答えが著しく類似するものと、(二)変化が多く各人各様の反応をしがちのもの群から成っている。例えば前者は「(10)歌をうたうのは」に対し好き嫌いの範囲が反応としてえられる。後者としては「(8)私が一度してみたいのは」に対し各人が全く異なった反応をする等である。前者は被験者の属する集団との思考・情緒の一致度を知り、後者は被験者個人の欲求をより明らかに理解しうるものである。

妥当性の検討 こうして一応設定されたSCTが果して心理検査として役立つかをみる為、通常人格や行動様式に差異があると考えられている互に異った群の反応に差が存するかを調べた。

(一) 男女高校生の反応差異

男子高校生106人、女子高校生84人にSCTを実施し、各項目の反応内容をカテゴリーを設定して分類した。例えば「(1)私の好きな人は」に対し、父・母・兄・姉のごとき反応をするものを「家族」に総括し、おとなしい人、静かな人等を「抽象的」に漱石・リンカーン等を「指名」、山下君・友達等を「友人」

第 一 図

(1) 私の好きな人は	男子%	女子%	t
家 族	11.9	31.5	2.19
抽 象 的	42.9	40.0	0.27
友 人	18.9	16.0	0.35
否 定	11.7	9.0	0.41

に分類するときである。次に各カテゴリーに生じる百分率を求め、差の検定を試みた。その例は第一図のごときである。この結果、男女反応に差異がみられたものは、2・5・7・8・14・15・24・32・35・36番の十項目を除く三十項目に存した。

これら差異ある項目の反応は、男女間の心理的・社会的差異を投出している。例えば女子は「私の好きな人」に家族をあげ、「ひとりぼっち」を著しく嫌い、「大ていの少年・少女」に批判的で、「歌をうたう」のを好み、「父や母は」子供のことを考えねばと反応する。更に男子が「人に馬鹿にされたら」それを無視しようとするのに対し、女子は自らを反省してみる。また「嫌いなもの」として男子が事物をあげるのに比べ、「汚いもの」とか「人の態度」をのべる。或は「将来何時か」結婚しますと女子が答えるのに対し、男子は何時か外国旅行をしようとして述べ、「一生けんめい働いても」金はもうからぬと経済的に答える。また「十万円もらったら」女子は社会事業に寄附しようとするが、男子は漠然と色々なものを買うとのべたり、「そんなことはありえぬ」と反応する。更に男子は「一度してみたいものに」自動車の運転がみられ、ややもすれば優越した地位にある自分を「空想」するし、女子ほど戦や力に「反対」していない。

(二) 男子高校生と非行少年の差異

前記の男子高校生106人、鑑別所入所非行男子少年180人について前と同様に検討を加えた。この結果、四十項目中、9・11・15・19・23・31番を除く三十四項目に有意の差がみられた。この差異あるものから少し引用すると次のようである。

非行少年は「私の好きな人」に家族をあげ、抽象的なものを述べることができない。また「私の家庭は」経済的に著しく貧困と訴え、「大ていの少年は」不良化したと自己を弁護し、悪環境を投出している。更に「人からいろいろ言われたら」内省することなく反抗する。一般に入所や非行に関連した反応が多く、欠損家庭（心理的にも）を示し、反応様式として著しく自己中心的に反応する。非行少年は高校生が社会に関心を持つのに対し、金銭へ強く執着し、理想として商売をして一人立ちしようとして述べる。

これらからみて、SCTは一応妥当性を持つと考えられよう。

信頼性の検討 Rohde は8ヶ月の間において少女・82、少年・76の信頼度をえた。またRotter は折半法で・85、妥当性・89をえている。ここでは妥当性の検討時に用いたカテゴリーを参照にしつつ、葛藤があつたり不健全な反応という社会適応性の点から信頼性をみようとした。被験者は少年刑務所及少年院に収容中の男子少年100人（年令平均19歳3月 δ 8.4月。IQ平均102 δ 14.2）を対象とし、入所時と4ヶ月後に再検査して、適応性の変化をみた。その結果は、

(一)各人の不適応項目総数を第一回、第二回にわけてみる時、 $r=.64$ の値を示し、一応信頼性を考えてよいと思える。

(二)次に各項目毎に適応・不適応間の変化を調べ、tetracholic correlation をとってみた。そ

の結果 .50 以上で相関ありとみられるものは、3・15・19・32・39・40 をのぞく残り三十四項目である。

(三)更に最初の検査と再検査の反応を単に表面的にみた一致度を調べた。臨床診断では「(20)かなしいことは」に対し、「父に言います」と答えても「母に言います」と答えても、特別の場合を除き、共に依存的欲求を示すと考えよう。しかし、ここでは一応各々を分離して、両者を異ったものとして取扱った。このようにして処理した結果、50%以上の一致度を示すのは、1・2・3・4・8・9・10・11・12・18・25・30・35・36番の十四項目である。

こうした結果はSCTの信頼性を示すとみられる。同時に、SCTの問題には検査、再検査時を通じ(一)表面的な反応すら殆んど変化しない項目と、(二)適応・不適応性は変化しなかったり、診断の意味は変らなくても、表面的な反応が可成り変化する項目があることも知られた。このことはSCTを臨床的に解釈する時、考慮すべきである。

診 断 方 法

SCTの解釈法としては先に述べたようなものがある。私は今日迄、実験群としての非行少年800人、コントロール群としての男女高校生各々150人、男子大学生100人をみた結果、このSCT解釈の手がかりとして次の点を用いた。

(一) 特殊な反応型

(1) 固執型…SCT解釈の手がかりとして特に大切なものである。同じ反応内容を多くの変化した項目に対し繰返すもので、母・異性・金銭等に固執したり、特別な欲求に執着するものがみられる。

(2) 感情短反応型…単に「よい」「すき」「嫌い」のごとく、殆どの項目に短い感情の語で反応するもので、低知能者にかなり多い。

(3) 冗長型…前の型に反し、くどくどと長く反応するものである。

(4) 自己中心型…多くの人が自己を中心としない項目に対しても、自分を主題として述べるもので、興味が自己をはなれない為と考えられる。例えば「(4)たいていの少年は私と仲よくなる」「(36)近所の人々は自分を可愛いがってくれる」等の反応である。

(5) 空想反応型…非現実的な思い付きや空想をのべるもので、女子に往々みられた。例えば「(8)ここは花のパーリー」「(10)歌をうたうのは悲しき口笛」等である。

(6) 虚偽反応型…非行者によくみられ、みえすいた虚偽で反応するもので、内容はそのまま信頼することができない。「(5)人からいろいろ言われたら絶対にきき入れます」「(19)人がえらそうに言ったら腹をたてません」とわざわざ書いたり、「(18)お父さんは」に「封建的」と書いて、消して「やさしい」と述べるなどである。

(7) 矛盾型…反応動機には前の型と共通のものがあるろうが、前後に矛盾のみられるもので、往々精神病質者に存している。例えば「(1)私のすきな人は母」とし「(11)お母さんは虫がすか

ぬ」とする等のものである。この中には同一対象に対する両面価値も考えられる。

(8) 反問型…「誰でしょう」「何故か」「どうでしょう」の如く反問形式をとるもので、逃避的な機制が働いていると考えられる。

(9) 隠匿型…「こうです」「いえない」「あります」「あの人」の如く内容を具体的に示さないものである。

(10) 拒否型…ややもすれば「ない」「ありません」「わからない」「言えない」のような否定反応や無反応が普通の知能を持ち乍ら多くみられるものである。

これら各種の反応様式の型が如何なる心的機制を示し、どんな人格の人に多いかは未だ調査していない。しかしこれらの反応型は一応問題を持つものとして考えられ、一部は命名した傾向を人格構造に持つことは否定できない。

(二) 社会不適応性の量的指示

被験者の社会適応度を量的に示す方法としては、問題を持つ反応の頻度と強さを調べねばならない。「(19)人がえらそうにいったら」に「言いかえす」も「なぐる」も不適応という点で「腹を立てる」より不健康であるが、「なぐる」は最も問題となるわけで、強度を考えねばならぬ。しかし私としては、主観的色彩の濃くなる強度は量的指示では一応廃した。たとえ「なぐる」に-2点を与えても、「(18)お父さんはどうしても殺してやる」の-2点とは異なるので、単に不適応の項目数を数えることにした。

これについて男女高校生各々100人の不適応項目平均3.9 σ 3.4に対し、非行少年200人の平均は7.3 σ 4.2で、両者の間には明らかに有意の差がある。従って妥当性の検討の際、多くの正常少年にみられなかった不健康な反応を、不適応項目とすることは可能であり、適応性の良否をあらわすといえる。大体5点以上が問題となり、10点以上となると問題性が可成り強いと考えてよい。

社会適応度	0~2	3~5	6~8	9~11	12以上
不適応項目数	+1	0	-1	-2	-3

(三) 質的検討

上の二点以外にSCT診断に於て重要なのは、むしろこの質的検討である。反応を単に平板上に羅列したものと考えず、力動的に層を持つものと考え、反応を統合することである。この為には他のプロジェクト法同様、解釈者の経験が必要であろう。

こうした点を考えてSCTをみてゆく時、少年の環境・理想・欲求・葛藤・行動様式等について、かなり役立つものがえられ、時には一般問診の補助や契機となりうる。更に他の心理検査と併用する時、被験者について多くの知識を我々に与えてくれる。

個々の例については頁数の関係もあり省略する。

(本研究は昭和26年度・27年度の文部省科学研究費総合研究「人格診断の総合研究」の一分科としてなしたものである)

参 考 文 献

- Bell, J. E. Incomplete Sentences Test, in "Projective techniques" 1948.
- Cameron, N. A study of thinking in senile deterioration and schizophrenic disorganization. Amer J. Psychol., 1938, 51, 650-664.
- Payne, A. F. Sentence completions. 1928.
- Rohde, A. R. Explorations in personality by the sentence completion method. J. Appl. Psychol., 1946, 30, 169-181.
- Rohde, A. R. Sentence completion test manual, 1947,
- Rotter, J. B., and Willerman, B. The incomplete sentences test. J. Consult. Psychol., 1947, 11, 43-48.
- Sacks, J. M., and Levy, S. The sentence completion test, Projective psychol., 1950, 357-402.
- Shor, J. Report on a verbal projective technique. J. Clin. Psychol., 1946, 2, 279-282.
- Smykal, A. Etiological studies of psychopathic personality, J. Clin Psychol., 1951, 4, 299-316.
- Tendler, A. D. A preliminary report on a test for emotional insight, J. Appl. Psychol., 1930, 14, 123-136.
- Wheeler, D. R. Imaginal productivity tests, in "Explorations in personality" ed. by Murray, 1938.
- Wilson, I. Sentence completion test. J. Consult. Psychol., 1949, 13, 400-406.

第一表 主要反応%分布表

非行少年180人, 男子高校生106人, 女子高校生84人で左欄から右欄に百分比で示してある。一定の基準というより, 群の差をみるために作成したものである。

(1) 私の好きな人は

	非	男	女
1. 家 族	46.7	18.9	38.1
2. 抽 象 的	7.3	35.0	29.8
3. 友 人	11.1	12.4	8.3
4. 特 定 人	2.8	5.6	2.4
5. 否 定	12.2	15.1	13.1
6. 異 性	6.1	2.8	0

4. リンカーン等
5. なし, 死んだ等

(2) 私の家庭は

1. 適 応 情 緒	27.8	63.5	68.0
2. 不 適 応 情 緒	20.6	15.1	7.2
3. 叙 述	8.9	19.8	19.0
4. 経 済 的 貧 困	23.8	1.1	1.2

1. たのしい, 明るい, 幸福, ほがらか等
2. 冷い, くらい, うつとおしい等
3. 5人家族, 天理市にある等
4. 貧乏等

(3) 皆と一諸に仕事をするのは

1. 適 応 情 緒	75.0	70.6	82.2
2. 不 適 応 情 緒	10.0	8.5	9.5
3. 論 理 的	6.1	16.0	7.2

1. たのしい, すき, 面白い等
2. きらい, いや, 好まぬ等
3. よい, 短時間でできる等

(4) たいていの少年は

1. 叙 述	17.2	48.0	23.8
2. 好 意 的	26.1	29.3	26.2
3. 批 判	25.5	15.0	38.2
4. 主 観 的	15.5	2.8	7.2
5. 無 関 心	3.9	1.9	3.6

1. 学生, 野球がすき等。悪意を含まぬこと
2. まじめ, よろしい等
3. 煙草をのむ, 不良, 悪い事をする等, 不良化を主とした批判
4. 嫌い, 好き等, 自分を中心とする
5. 分りません, 知りません, 何ともいえぬ等

(5) 人からいろいろ言われたら

1. 反省	24.3	51.0	46.5
2. 反抗	41.6	30.0	34.6
3. 逃避	11.6	13.2	11.9
4. 意志的	1.6	1.9	2.4
5. 無視	3.3	1.9	4.7

1. 反省する, 素直に聞く, 等肯定のものゝ善悪を判断して聞く等内省してから反省するものを含む。
2. 腹が立つ, うるさい, いや等
3. 悲しい, はずかしい, いやになる, だまる等。
4. 自分の考えをのべる。
5. 何とも思わない, 気にしない等

(6) 一生けんめい働いても

1. 経済的叙述	46.2	40.1	20.2
2. 客観的叙述	18.9	31.1	51.3
3. 悲歎的	13.3	28.3	19.1
4. その他	16.7	0	0

1. 食えない, 金がたまらない等
2. 健康を失わぬ, 成功するとは限らぬ等
3. ほめられぬ, なんにもならぬ等

(7) 本当に私の好きなのは

1. リクリエーション	32.2	29.3	19.0
2. 人物	21.1	22.6	31.0
3. 勉学	7.3	15.1	20.2
4. 生活態度	4.4	5.7	10.7
5. 否定・無関心	2.2	9.4	7.3
6. 隠匿	0	1.9	2.4
7. 職業	5.6	0	0

1. 映画・野球等
2. 家族, 先生, 友人, 理想人物を含む
3. 英語, 国語等
4. 静かな生活, 真面目に働くこと等
5. ありません
6. いえない, はずかしくていえぬ等
7. 商売等

(8) ここは

1. 指名	34.5	67.0	63.1
2. 好意	6.1	8.5	13.1
3. 反感	26.1	12.4	3.6
4. 説明	22.8	1.9	9.5

1. 育英高校, 刑務所等
2. よろしい, たのしい等
3. いやな処, 大きらい等
4. …する処の説明のもの

(9) 人に馬鹿にされたら

1. 憤怒	60.0	50.9	23.5
2. 反省	8.9	15.2	26.2
3. 無視	7.3	10.2	7.3
4. 逃避	2.8	6.6	19.1
5. 説得	0	2.8	2.4
6. 是認	7.8	3.8	2.4

1. 腹が立つ, 怒る等
2. 一生けんめい勉強する, 怒つて後反省するものも含む
3. ほっておく
4. かなしい, くやしい, いやになる等
5. 説得する, 弁解する等
6. 感謝する, その通りだ等

(10) 歌をうたうのは

1. 好き	47.0	28.3	41.7
2. 楽しい	18.0	42.4	46.4
3. 嫌い, 恥しい	15.0	13.2	3.6
4. 指名	2.0	4.7	2.4
5. よい	2.0	5.7	3.6

(11) お母さんは

1. 愛著的	54.5	63.0	51.0
2. 叙述	24.3	30.1	26.2
3. 論理的	0.5	0.9	9.5
4. 内省的	0	0.9	4.8
5. 反抗的	5.6	0.9	2.4
6. 不適應	11.1	2.8	3.6

1. やさしい, 好き, よい人等
2. 健康である, 39歳等
3. 指導に気をつけるべし等
4. 大切にすべきだ等
5. 口やかましい, 封建的等
6. 死んだ, 女です等

(12) ひとりぼっちでいる時は

1. 嫌悪	66.0	56.6	70.2
2. 愛著	0	15.1	7.1
3. 読書	6.0	10.4	3.6
4. 歌う	0	3.8	3.6
5. 考える	17.0	5.7	14.3
6. 眠る	0	1.9	1.2

1. さびしい, かなしい, つまらぬ等
2. たのしい等
5. 空想する, 父母を思う等

(13) たいていの少女は

1. 叙述	19.5	34.9	50.0
2. 好意的	22.8	23.8	14.3
3. 批判	15.0	27.3	23.8
4. 主観的	19.5	6.6	4.8

1. 感傷的, 勉強する, 美しい等
2. かわいい, やさしい等
3. アプレ, わがまま等
4. すき, きらい, 僕と仲よくなります等

(14) 人の世話をするのは

1. 好意的	40.0	39.6	45.2
2. 嫌悪	28.9	22.7	21.4
3. 道徳的	7.3	14.2	19.1
4. その他	24.9	14.2	14.3

1. すき, たのしい等
2. いや, きらい等
3. よいことです等
4. かしこい人, 両親, 世話がやける等

(15) 世の中の人

1. 好意的	20.5	12.3	13.1
2. 反感	29.5	39.6	38.1
3. 叙述的	37.7	40.6	48.8

1. よい, 親切, 善人等
2. 冷い, 信用できぬ, 利己主義等
3. さまざま, 働いている. よい人と限らぬ等

(16) だれからも嫌われたら

1. 落胆	34.0	32.8	43.9
2. 無視	10.0	23.5	17.1
3. 反省努力	18.0	21.9	9.8
4. 自殺	10.0	6.3	12.2
5. 立腹	14.0	4.7	0

1. いやになる, さみしい, なさけない等
2. すておく, それでよい等
3. 努力する. 反省する

(17) ここにいる人々は

1. 好意的	47.2	28.4	20.2
2. 叙述	28.3	53.0	65.5
3. 反感	1.1	9.4	5.6
4. 不幸	9.4	0	0

1. よい人, 親切等
2. 学生. 友人. よい人もわるい人もいる等
3. うるさい
4. 不幸な人

(18) お父さんは

1. 愛著	30.0	31.1	27.4
2. 叙述	34.0	42.5	36.9
3. 反抗	12.2	15.1	10.7
4. 論理的	0	0	8.3
5. 不適応	17.4	1.9	7.1
6. 両向的	1.6	6.6	5.6

1. よい人, すきだ等
2. 50歳, よく働く等
3. 封建的, うるさい, きらい, こわい等

4. 子の教育に注意等
5. 死んだ, いない等
6. すきだがこわい等

(19) 人がえらそうに言ったら

1. 立腹	35.0	37.5	31.8
2. 反抗	16.0	15.6	22.0
3. 放置	16.0	12.5	19.5
4. 反省・受動	12.0	10.9	9.8
5. 落胆	2.0	1.6	9.8
6. 冷笑	5.0	4.7	7.3

1. くやしい, おこる等
2. いいかえす, けなす等
3. いわせておく, きこえぬふりをする等
4. 受入れる, 聞く等
5. かなしい
6. 心の中で笑う, おかしい, 軽蔑する等

(20) かなしいことは

1. 否定	15.5	16.0	22.6
2. 肯定	22.2	11.3	7.2
3. 自己の態度	16.7	33.0	35.7
4. 自己の無力	0	17.0	7.2
5. 家庭	11.6	8.5	4.8
6. 友人	1.6	7.6	10.7
7. 入所	16.7	0	0

1. 単に「ない」といったもの
2. 単に「ある」といったもの
3. きらい, うちあける, 日記に書く, 我慢する等
4. 自分に力がないことをいうもの
5. 父に叱られた時, 母のいないこと等
6. 友のないこと, 皆からはなれた時等
7. ここに入ったこと等

(21) 本当の友だちは

1. 性質・態度	22.2	33.0	50.0
2. 量的指示	12.2	16.0	21.4
3. 指名	17.2	7.6	7.2
4. 否定	25.5	12.2	13.1
5. 肯定	4.4	2.8	1.2

1. 信頼できる人, 親切からできる等
2. 一人です, 少い等
3. ○○君
4. ない, いない等
5. 単に「ある」というもの

(22) 私ができないのは

1. 学科, 運動	22.2	29.2	28.6
2. 反省	3.9	15.1	21.4
3. 悪事	5.0	3.8	2.4
4. 弁論	0	3.8	2.4
5. 職業	6.1	1.9	2.4
6. 否定	16.7	14.1	5.9
7. 自己の感情	0.5	5.7	5.9
8. 肯定	8.9	0	0

1. 数学, 野球等
2. 努力しないから, 勉強しないから, 反省してみる等
3. わるいこと, うそをいうこと等
4. うまく話すこと
5. 百姓等
6. 「ない」というもの
7. つらい, 残念, くやしい等
8. 単に「ある」というもの

(23) 私がきらいなのは

1. 人の態度	12.0	17.9	32.2
2. 事物	41.0	35.8	26.2
3. 汚物	0	1.9	10.7
4. 戦争	0	1.9	3.6
5. 強制	1.0	2.8	2.4
6. 自己の態度	2.0	1.9	3.6
7. 世の中・人	7.0	7.6	5.9
8. 否定	20.0	13.2	5.9
9. ここ	3.0	0	0

1. 悪口いう人, 下品な人, かげぐち等
2. 蛇, 体そう, 魚等
3. 汚いもの
4. 争いも含む
5. わりにさせられること
6. 問題にせぬ, すきな人にしてもらう等
7. 政治家, 女, わるい社会
8. 単に「ない」というもの
9. 鑑別所等

(24) 私が幸福に思うのは

1. 家 庭	39.4	45.3	50.0
2. 勉 学	0.5	13.1	8.3
3. 現 在・未 来	7.8	14.3	10.7
4. 否 定	11.1	3.6	3.6
5. 対 人	3.9	4.8	2.4
6. 仕 事	5.0	0	0
7. 異 性	1.6	0	0
8. 金 銭	1.6	0	0

1. 家族の健康, 両親のいること等
2. 読書, 学校へゆくこと等
3. 現在の生活, これから先等
4. ない
5. 人にかあいがられること等
6. 今の仕事
7. 女, 妻のあること等
8. 金をためること等

(25) 将来いつか私は

1. 成 功	26.6	22.9	14.3
2. 社会への貢献	8.9	10.1	8.3
3. 結 婚	0	6.4	19.1
4. 成 人・死	5.6	20.2	11.9
5. 旅 行	0.5	7.3	3.6
6. 不 安	2.2	2.8	4.8
7. 職 業	8.9	13.8	21.4
8. 改 心	9.4	0	0

1. 立派な人になる, 代議士になる等
2. 社会のため働く, よき社会人になる等
3. 結婚する
4. おとなになる, 死ぬ等
5. 東京へゆく, パリにゆく
6. わからない
7. 商人, 教員等
8. 心を入れかえる

(26) 私が反対するのは

1. 否 定	23.8	4.7	6.0
2. 戦 争・力	5.6	15.1	23.8
3. 思 想	4.4	27.4	15.5
4. 他人の態度	12.2	11.3	17.9
5. 外界への批判	0.5	9.4	0
6. 悪 事	8.9	11.3	6.0
7. 自 己 中 心	9.4	9.4	9.5
8. 家 庭	3.3	9.0	0
9. 肯 定	1.1	0	0
10. 指 名	4.4	0	0

1. 「ない」「少い」
2. 再軍備, けんか, 暴力等
3. 共産党, 利己主義, 不正等, 考え方も含む
4. 近頃の学生, 無理なことをいわれること等
5. 政治, 大臣たち等
6. 殺人, ヒロポン等
7. いやだから, 怒った時, あたり前等, 自分を中心とした反応
8. 父のすること, 家の人々の考え方等
9. ある
10. 山下君

(27) 淋しいのは

1. 孤 独	22.2	30.2	40.5
2. 嫌 悪	11.1	29.2	11.9
3. 自 然 環 境	1.1	7.6	6.0
4. 否 定	3.3	7.6	3.6
5. 離 別	20.5	5.7	10.7
6. 入 所・現 在	20.5	0	0
7. 肯 定	2.8	0	0
8. 貧 困	1.1	0	0

1. ひとりの時, みよりがないから等
2. いや, つらい, 悲しい等
3. 月夜, 夜道等
4. ない
5. 死, 父がいないこと, 人と別れる時等
6. 此处等
7. ある
8. 金がない時等

㉞ 私の考えは

1. 批判的	22.8	22.6	34.5
2. 自負的	2.8	19.8	26.2
3. 社会への希望	0	2.8	8.3
4. 自らへの希望・態度	20.0	11.3	15.5
5. 勉学	0	10.4	6.0
6. 否定	12.2	2.8	3.6
7. 出所	18.9	0	0

1. よくない, だめだ, 間違っている等
2. よい, 正しい, 大きいものだ等
3. 平和になること等
4. 人格者になること, 実行する等
5. 教養をみにつけたい等
6. 何もない等
7. 早くでること, 家に帰りたい等

㉞ 大切なことは

1. 勉強	0	18.8	15.5
2. 道徳的なもの	15.0	3.8	19.1
3. 生活・人生観・处世態度	28.0	29.2	31.0
4. 否定	8.0	2.8	2.4
5. 自己の態度	25.0	25.2	19.1

1. 勉学すること
2. 善行, 盗まぬこと, 孝行等
3. 人に頼らぬこと, 体をつよくすること, 希望をもつこと等
5. 相談する, やり通す, よく考える等

㉞ 十万円もらったら

1. 漠たる使用	17.0	36.8	17.9
2. 家	12.0	3.8	7.1
3. 貯金	26.0	21.7	19.1
4. 社会事業	3.0	7.6	32.2
5. 喜びの気持	3.0	7.6	2.4
6. 否定	9.0	4.7	6.0
7. 人に与える	3.0	7.6	9.5
8. 考える	1.0	3.8	4.8
9. 商売	23.0	0	0

1. 本を買う, 思うことをする等
2. 家をたてる等
3. 貯金する, 学資をためる等
4. 社会のため寄附する等
5. うれしい等
6. ありえぬ等
7. 父母にわたす等
8. 何にかおもう等
9. うどんやをする, 商売する等

㉞ 私がほめられたのは

1. 時期	9.0	6.3	7.3
2. 否定	24.0	28.1	9.8
3. 行為	32.0	25.0	58.6
4. 量的指示	13.0	7.8	4.9
5. 感情	5.0	8.1	0
6. 人物	3.0	3.1	4.9

1. 小学時代, 昨年12月等
2. 殆んどない, ありません等
3. 成績がよいから, 仕事をする等
4. 何回もある, 一回だけ等のほか「あります」を含む
5. うれしい, てれくさい等
6. 父から, 友人から等

㉞ 今迄にとってもはずかしかったことは

1. 異性	0	8.6	6.0
2. 否定	27.0	22.8	14.3
3. 肯定	5.0	3.8	1.2
4. 恥辱	1.0	2.9	8.3
5. 学校場面	3.0	15.2	14.3
6. その他の場面	8.0	18.1	26.2
7. 非行	37.0	0	0
8. 量的指示	4.0	3.8	1.2
9. 吃音等	4.0	0	1.2

1. 恋人とはじめて話した時, 女の前で失敗した時等
2. 別れない, 忘れた等
3. 「ある」といったもの
4. 「恥をかいたこと」というのみのもの
5. 先生にしかられた時, 学芸会でせりふを忘れた時等

6. 約束を忘れたこと, うそがばれた時等
7. 警察につかまった時, この事件等
8. 何等もある等
9. 吃音等自己の無能力, 身体欠陥に関するもの

㉓) 子供の時は

1. 愛 著 的	15.0	26.7	29.8
2. わ る さ	10.0	12.9	4.8
3. 小 さ っ た	0	7.9	2.4
4. 遊 戯	3.0	12.9	11.9
5. 無 邪 気	2.0	5.9	9.5
6. 弱 虫	8.0	7.9	6.0
7. 苦 痛	4.0	3.9	15.5
8. 優 越	4.0	8.9	4.8
9. 忘 却	6.0	1.0	2.4
10. かわいかった	5.0	0	4.8
11. 善 良	17.0	0	0
12. おとなしい	4.0	0	0

1. たのしかった. よかつた等
2. 我儘, わんぱく, やんちゃ等
3. 小さかった
4. よく遊んだもの等
5. 無邪気
6. 内気, なきみそ等
7. 叱られた, 苦しかった, 馬鹿にされた等
8. すぐれていた, よくほめられた等
9. おぼえてない, わからない等
10. 「かあいがられた」も含む
11. 真人間, 正直だった等

㉔) 私が怒るのは

1. 主観的理由	25.0	24.2	34.2
2. 気に入らぬ	1.0	11.3	9.8
3. 立 腹	7.0	21.0	9.8
4. 否 定	23.0	9.7	2.4
5. 客観的理由	9.0	8.1	17.1
6. 対 人	3.0	4.8	4.9
7. 内 省	2.0	1.6	0
8. その他の理由	13.0	9.7	7.3
9. 感 情	6.0	3.0	9.8

1. 自分に関係した理由で, ぶじよくされた時, 私に悪い事をするから, 人から反対された時等
2. 漠然と「気に入らぬから」とのべるもの
3. 腹が立つ時, かんがたつので等
4. 少い殆んどない等
5. (1)に比し客観的で, ざんこくだから, 不真面だから, 理に反するから等
6. 弟, よけいな事をする人等
7. 気が短いからのごとく内省したもの
8. (1)(5)以外で, こういう理由だ, 自分でも分らん, 貴方を思うから等
9. (3)以外の感情的な反応, かなしい, 当たり前等

㉕) 私の一番心配するのは

1. 将 来	15.0	17.2	17.1
2. 学 校 生 活	0	23.2	31.7
3. 家 庭	41.0	12.5	17.1
4. 病 気, 死	3.0	7.8	7.4
5. 社 会	1.0	7.8	2.4
6. 就 職 問 題	2.0	4.7	7.4
7. 否 定	5.0	6.3	0
8. 事 件	19.0	0	0

1. これからの事, 自分の将来等
2. 定期試験, 進学等
3. 家のこと, 母の事, 父の病等
4. 病気になること, 死等
5. 日本の事, 戦争, 再軍備等
6. 卒業してからの就職, (1)に関係する
7. ない等
8. 此処をでる事, 真面目になれるか等

㉖) 近所の人々は

1. 調 和	32.0	54.7	56.1
2. 不 調 和	18.0	28.2	26.9
3. 自己本位の調和	12.0	0	0
4. 自己本位の不調和	18.0	0	0

1. よい人, 明るい, 親切等
2. 利己主義, でしゃばり, うるさい等
3. 僕のことを心配してくれるの如く, 自分を中心とする
4. 僕を馬鹿にする, 変な目でみるのごとく, 自分を中心とする

㉗ 私を知りたいのは

1. 心 理	5.0	17.2	14.7
2. 学 問・知 識	14.0	18.8	12.3
3. 社 会	12.0	21.9	26.8
4. 特定人の心・ 住所	13.0	3.1	2.4
5. 量的指示	1.0	6.3	0
6. 抽 象 的	6.0	6.3	12.3
7. 不 明	1.0	3.1	0
8. 否 定	5.0	4.7	2.4
9. 職 業	9.0	0	0
10. 非 行	17.0	0	0

1. 女の気持, 友人の心等
2. 心理学, 自動車の修理等
3. 世界のうごき, アメリカ等
4. あの人の名, 母の住所等
5. 一つでない, いろいろ等
6. 幸福, 未来, 運命等
7. 分らぬ等
8. ない
9. 商売, うどん屋の仕事等
10. 帰れるかどうか等

㉘ 私が一度してみたいのは

1. 否 定	14.0	12.9	7.4
2. ス ポ ー ツ	7.0	9.7	7.4
3. 旅 行	1.0	12.9	19.6
4. 対 社 会	2.0	8.1	2.4
5. 運 転	15.0	11.3	4.7
6. 優 越 地 位	13.0	9.7	12.3
7. 肯 定	2.0	9.7	0
8. 職 業	15.0	0	9.8
9. 孝 行	6.0	0	0

1. 別がない等
2. テニス, スケート等
3. 世界旅行, 宇宙旅行等
4. 親切, 正義, 社会に役立つこと等
5. 自動車の運転, 飛行機にのること等
6. 社長, 大臣, 発明, 大事業等
7. ある, 多い
8. アナウンサー, パン屋等

㉙ 私がよく空想するのは

1. 未 来	7.0	20.6	19.6
2. 抽 象 的	2.0	12.7	19.6
3. 旅 行	1.0	12.7	12.3
4. 飛 行	3.0	4.8	0
5. 家 庭	13.0	1.6	9.8
6. 優 越 地 位	15.0	15.9	9.8
7. 遊 学	0	3.2	0
8. 理 由	2.0	3.2	2.4
9. ス ポ ー ツ	1.0	1.6	2.4
10. 否 定	10.0	0	0
11. 職 業	4.0	0	0

1. 私の未来, これからの自分等
2. 漠然とした反応で, 死んだら, 夢の国, で
きそうもないこと, 自由の国等
3. アメリカ行等
4. 飛行機にのる, 空を飛ぶこと
5. 幸福な家庭等
6. 船長, 大臣, 金持になり, 人をみかえす等
9. スケートですべること等
11. 農園をつくること等

㉚ 私のよいところは

1. 否 定	21.0	19.3	31.8
2. 家 庭	8.0	16.1	9.8
3. 学 校	1.0	1.6	0
4. 場 処	10.0	8.1	2.4
5. 性 質	35.0	29.0	44.0
6. 不 明	6.0	4.8	7.4
7. 量的指示	1.0	3.2	0

1. 別がない等
2. 家です
3. 学校です
4. 東京, スイス, 田舎等
5. 持久力, ほがらか, 正直, 真面目等
6. 分らぬ
7. 多い, 少い

第二表 S C T (青年用)

氏名	生れた日	年 月 日			けんさ日	年 月 日			年令	年 月	
		年	月	日		年	月	日		年	月

次の文のあいているところにあなたの思つた言葉を入れて，なるべく早く文をつくりなさい。

- (1) 私の好きな人は
- (2) 私の家庭は T _____
- (3) 皆といつしよに仕事をするのは
- (4) たいていの少年は
- (5) 人からいろいろ言われたら
- (6) 一生けんめいはたらいても C _____
- (7) 本当に私の好きなのは
- (8) こ　こ　は
- (9) 人に「ばか」にされたら
- (10) 歌をうたうのは S _____
- (11) お母さんは
- (12) ひとりぼつちでいる時は
- (13) たいていの少女は
- (14) 人のせわをするのは
- (15) 世の中の人
- (16) だれからもきらわれたら
- (17) こゝにいる人々は
- (18) お父さんは
- (19) 人がえらそうに言つたら
- (20) かなしいことは
- (21) ほんとうの友だちは
- (22) 私ができないのは
- (23) 私がきらいなのは
- (24) 私が幸福に思うのは
- (25) 将来，いつか私は
- (26) 私が反対するのは
- (27) さびしいのは
- (28) 私の考えは
- (29) 大切なことは
- (30) 十万円もらつたら
- (31) 私がほめられたのは
- (32) 今までにととてもはずかしかつたことは
- (33) 子供のときは
- (34) 私がおこるのは
- (35) 私の一番心配するのは
- (36) 近所の人々は
- (37) 私が知りたいのは
- (38) 私が一度してみたいのは
- (39) 私がよく空想するのは
- (40) 私のよい所は (1954年11月受領)